

岡崎市立

額田図書館便り

No. 32 秋号

(2014. 9 発行)

ぬかいた便り

◆ 読書の秋 ◆ 到来



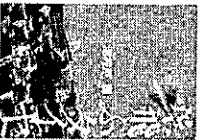
ススキの穂が銀色に輝き、風に揺れる秋の始まり。

読書に季節はありませんが、何故かこの時期は本が読みたくなります。
この秋、どんな本との出会いがあるでしょうか。

想像の翼を広げ、豊かな世界を旅しよう。



ハラハラ・ドキドキ



小さな運送会社のトレーラーが起こしたタイヤ脱輪による死亡事故。事故の原因は本当に整備不良なのか。一気に読めます！半沢作品より面白いかも！？

『空飛ぶタイヤ』 913.6 イケ
池井戸 潤 著 / 実業之日本社

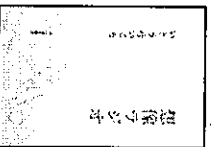


何故チエミは母を殺し逃亡したのか。かつて幼馴染だった二人の視点から描く、親子関係・友人関係の難しさ。…最後にタイトルの意味がわかり、切なくなります。

『ゼロ、ハチ、ゼロ、ナナ。』 913.6 ツツ
辻村 深月 著 / 講談社



生について考えたい



DJアークがパーナリナイを務める「想像ラジオ」。彼は、高い杉の木のでっぺんにひっつかかっている。耳を澄まし、神経をときすませば、彼の声がかきつと聞こえる…。

『想像ラジオ』 913.6 イケ
いとう せいこう 著 / 河出書房新社



日本人が乗ったバスが、ゲリラに襲われ拘束された。百日が経った頃、全員死亡という最悪の結果に。ところが事件から二年後、人質たちの音声がラジオで放送される。

『人質の朗読会』 913.6 オカ
小川 洋子 著 / 中央公論新社